

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
-----	-----------

○平成 30 年度第 2 回久喜市総合教育会議

1 開会

司会 (石井企画政策課長)	<p>皆様、こんにちは。 定刻になりましたので、只今から、平成 30 年度第 2 回久喜市総合教育会議を開会いたします。 会議に先立ちまして、ご了解いただきたい件がございます。 本会議の公開、傍聴、会議録の作成及び公表、会議録作成のための録音につきましては、前回、ご確認をさせていただいておりますので、前回と同様の取り扱いをさせていただきます。皆様のご了解をお願いしたいと存じます。 次に、会議録に署名する構成員については、市長及び市長が指名する 1 名の構成員が署名するものとしておりますので、市長からの指名をお願いします。</p>
梅田市長	<p>教育委員の名簿の順をお願いしたいと思いますので、今回の会議録の署名は「諸橋委員」をお願いします。</p>
司会 (石井企画政策課長)	<p>ありがとうございます。 それでは、本日の会議録の署名は、梅田市長と諸橋委員をお願いいたします。</p>

2 市長あいさつ

司会 (石井企画政策課長)	<p>それでは次第に基づき進めさせていただきます。 はじめに梅田市長より、ごあいさつをいただきたいと存じます。</p>
梅田市長	<p>皆さんこんにちは。 本日は平成 30 年度第 2 回久喜市総合教育会議のご案内をいたしましたところ、教育委員会の皆様には、お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。 また、日頃から、本市の教育行政の推進につきまして、ご尽力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。 本日は、前回の会議におきまして、今回の会議の協議・調整事項とした「小・中学校の適正規模・適正配置」につきまして、協議・調整をお願いするわけでございます。 現在、全国的に少子化が進行しており、平成 28 年の本市における合計特殊出生率は 1.11 と、全国平均の 1.44 を下回っている状況にご</p>

<p>司会 (石井企画政策課長)</p>	<p>ざいます。</p> <p>また、少子化に伴い児童生徒数が減少し、小・中学校の小規模化が進んでおりますが、学校の小規模化は、教育活動や学校運営に課題が生じることが懸念されます。</p> <p>このような中、本市では、小・中学校の適正規模・適正配置について検討をしているところでございますが、この取り組みは教育行政を推進するうえで、大変重要なものであると認識しておりますことから、本日は皆様のご意見をお伺いし、意見交換をしてみたいと考えております。</p> <p>是非、皆様から忌憚のないご意見を賜りまして、有意義な会議となりますことをお願い申しあげまして、簡単ではございますが、開会に際しましてのごあいさつとさせていただきます。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
--------------------------	--

3 教育長挨拶

<p>司会 (石井企画政策課長)</p> <p>柿沼教育長</p>	<p>それでは続きまして、柿沼教育長より、ごあいさつをいただきたいと存じます。</p> <p>みなさまこんにちは。</p> <p>先般梅田市長から平成30年度第2回久喜市総合教育会議開催のご案内をいただきました。教育委員のみなさま全員と出席させていただきました。市長におかれましては、日頃より教育行政への深い理解とご支援をいただいておりますことに、この場をお借りしまして、心から感謝申し上げます。</p> <p>今、学校では連日、数年にわたって教育委員会が委嘱しました研究について、その成果を発表していただいております。今日的課題であります英語教育やICT、プログラミング教育、インクルーシブ教育、さらには教科化されました道徳教育など、実に多くの分野で先進的な取り組みをしていただいております。その関係で、ここ数年県内外から久喜市の学校への視察が絶えない状況が続いております。</p> <p>本日の総合教育会議では、児童生徒の減少による小規模化が進んでいる学校があることから、小・中学校の適正規模、適正配置、統廃合等が主要なテーマでございます。大変重要な課題でございますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>梅田市長におかれましては、これまで以上に本市の教育の充実のために、さらなるご理解とご協力をいただきますことをお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。</p> <p>どうぞよろしくお願い申し上げます</p>
---------------------------------------	--

司会 (石井企画政策課長)	ありがとうございました。
------------------	--------------

(資料確認)

司会 (石井企画政策課長)	<p>それでは、次第 4、協議・調整事項に入る前に、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>事前送付資料としまして、</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成 30 年度 第 2 回久喜市総合教育会議次第 (2) 資料 1 市内小・中学校の統廃合等の検討に関する経過状況（平成 30 年 11 月 5 日現在） (3) 資料 2 「久喜市立小・中学学区等審議会」における審議等状況（平成 30 年 11 月 5 日現在） (4) 資料 3 学校統廃合等を検討している市内小・中学校の児童生徒数及び学級数の推移 <p>以上、次第を含めまして 4 点でございますが、お手元でございますでしょうか。</p>
------------------	---

4 協議・調整事項 (1) 小・中学校の適正規模・適正配置について

司会 (石井企画政策課長)	<p>それでは、次第 4、協議・調整事項に入らせていただきます。</p> <p>久喜市総合教育会議運営要綱第 3 条の規定によりまして、総合教育会議は、市長が招集し、その議長となると定めております。</p> <p>このようなことから、梅田市長に議長をお願いいたします。</p> <p>なお、議長として会議を進行していただきますが、併せて協議・調整にも加わっていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、梅田市長、よろしく申し上げます。</p>
議長 (梅田市長)	<p>それでは、ここから暫くの間、議長として、協議・調整を進めさせていただきます。</p> <p>皆様におかれましては、協議・調整が円滑に進行いたしますよう、特段のご協力をお願いいたします。</p> <p>では、協議・調整事項の「(1) 小・中学校の適正規模・適正配置について」でございます。</p> <p>内容につきまして、担当課より説明願います。</p>
坂東学務課長	<p>それでは、配布いたしました「資料 1～資料 3」により、学務課から説明をさせていただきます。</p> <p>はじめに、統廃合等を検討している市内小・中学校の児童・生徒数の状況と今後の見込みについてご説明いたします。資料 3 の 1 ページをご覧ください。</p> <p>教育委員会では、小規模化の著しい江面第二小学校、小林小学校、上</p>

内小学校、菖蒲南中学校の4校を対象として、学校統廃合等の検討を進めておりますが、

まず、江面第二小学校につきましては、平成31年度から複式学級編制の対象となる児童数が推計されるほか、平成34年度には複式学級の対象が2学級と見込まれるなど、小規模化が深刻化するものと推測しています。

次に、小林小学校では、平成32年度の新入学児童数が5人となり、平成33年度から複式学級の編制が見込まれるなど、今後、児童数の減少が一層顕著になると思われます。

次に、上内小学校では、今後、1学年あたりの児童数が概ね10人程度となっていく見込みであり、複式学級の編制は見込まれていないものの、小規模化が一層進行していくものと思われます。

次に、菖蒲南中学校では、今年度の1年生が33人であることから1クラスの編成となっております。平成35年度には、全ての学年が1クラス編成となり、クラス替えができない状態になるものと思われま

す。これらを踏まえまして、「市内小・中学校の統廃合等の検討に関する経過状況」について、ご説明いたします。

恐れ入りますが「資料1」の1ページをご覧ください。

はじめに、「1学校統廃合等の検討を開始するまで」についてでございますが、教育委員会では、平成29年1月に「小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」を策定し、5月24日に「第1回久喜市立小・中学校学区等審議会」を開催し、諮問したところ、対象校4校のうち江面第二小学校を優先的に検討することを決定しました。

次に、「2の江面第二小学校の統廃合等の検討について」でございます。

「説明会等の開催回数」については、これまでに、江面第二小校区で18回、江面第一小校区で5回の合計23回行ってまいりました。

次に、「説明会等の経過概要」について、主要なもののみご説明いたします。

平成29年6月17日以降、説明会を重ね、資料の2ページに移りますが、11月10日から13日の説明会では、「平成32年（2020年）4月に江面第一小学校と統合する」という案を示しましたところ、平成30年1月15日に、江面第二小学校区の3人の区長の連名で、「学校統廃合の見直しを求める陳情書」が提出されました。

陳情書の対応につきましては、提出者を平成30年3月の教育委員会定例会に招致して、その主旨についてご意見を伺いながら審議した結果、陳情書を不採択とする決定をいたしました。なお、この結果については、平成30年4月13日付の文書にて、陳情者に回答を行っております。

このような経過も踏まえまして、当初予定していた「平成32年4月」統合の案については、準備期間等の不足が見込まれるため、6月26日から7月5日に開催した説明会において、統合の時期を新たに「平成33年（2021年）4月」とする案をお示ししながらご意見を伺ってまいり

ました。

そのような中、7月25日付で、江面第二小学校PTAから、市長及び教育長に対し、「統廃合の方針を早急に決定すること」、また、「学校統廃合の検討が行われている間、市費負担教員を配置し、複式学級の編制を回避すること」を主旨とする、要望書が提出されました。

このことから、統廃合について保護者の意向を確認するため、8月29日から9月5日の間に、江面第二小学校及び江面第一小学校の保護者を対象としたアンケート調査を実施いたしました。

アンケートの結果は、資料2ページ一番下の欄にありますように、江面第二小学校の保護者のうち67.6%、江面第一小学校の保護者のうち69.9%の方から、学校統廃合に「賛成またはやむを得ない」との回答が得られました。

その後、教育委員会では、複式学級の編制回避に関する対応について、市長部局と調整のうえ検討を行い、「学校統廃合を実施するまでの期間に限り、市費負担教員を配置して、複式学級を編制しないよう対応する」とこといたしました。

その後、10月3日から9日にかけて、江面第二小学校区の地域住民を対象に、行政区ごとの意見交換会を開催し、参加者には、学校統廃合に対する賛否についてのアンケートをお願いいたしました。

アンケートの結果、参加者のうち18人の方からご回答があり、そのうち15人(83.3%)の方が学校統廃合に「賛成またはやむを得ない」とのお考えであるという結果が得られました。

以上のことから、今後は、これまでのご意見などを踏まえまして、平成31年3月末までに、教育委員会において、江面第二小学校の統廃合の方針を決定できるよう進めてまいりたいと考えております。

なお、保護者や地域住民の皆様からいただいた「主なご意見」については、資料3ページの中程にお示ししておりますので、参考にさせていただきたいと存じます。

続きまして、「3の小林小学校の統廃合等の検討について」でございます。

小林小学校につきましても、現段階で、統廃合の相手校や統合の時期などについては検討中であり、いずれも未定でございます。また、説明会等の経過概要につきましても、資料4ページにありますとおり、平成29年12月に菖蒲南中学校において、1回実施したのみとなっております。

「主な意見」といたしましては、多くの保護者や地域住民から「小林小学校と地域との結びつきの強さ」に関するご意見をいただいたほか、「統廃合しなくても済む方法を考えるべき」、「学校が無くなると地域が廃れてしまうので、地域に人口を増やす施策を講じるべき」など、統廃合に否定的な意見や、市の施策に関する要望などが多かったところがございます。

続きまして、「4の上内小学校の統廃合等の検討について」でございます。

上内小学校につきましても、現段階で、統廃合の相手校や統合の時期

などについては検討中であり、いずれも未定でございます。また、説明会につきましては、平成 29 年 12 月と平成 30 年 1 月に上内小学校において、計 2 回実施したのみとなっております。

主な意見といたしましては、保護者から「このままでも良いのではないか」、「特別支援学級への配慮が保たれるのか」、「統合していじめにあわないか」といった、統廃合に対する不安の意見をいただいたほか、地域住民からも、地域と学校とのつながりの大きさや、校区である「わし宮団地」の学校が無くなる寂しさなど、統廃合に否定的なご意見が多かったところでございます。

続きまして、「5 の菖蒲南中学校について」、資料 5 ページをご覧ください。

菖蒲南中学校の統廃合に関する基本的な考え方（案）については、「統合の相手校は菖蒲中学校、時期は平成 33 年（2021 年）4 月、新校の位置は、現在の菖蒲中学校の位置に開校する」ことで検討しております。

説明会等の開催につきましては、これまでに計 9 回実施しておりますが、菖蒲南中学校の統廃合については、保護者の方から、前向きな意見をいただいております。また、学区等審議会からは、教育委員会の具体的な案を示して検討を進めたほうがよいとのご意見をいただいております。

このようなことから、教育委員会では、江面第二小学校と同様に、菖蒲南中学校の統廃合等の検討についても優先的に進めることとし、保護者の皆様に具体的な案を示してご意見を伺うため、6 月下旬から 7 月上旬にかけて、菖蒲南中学校、小林小学校及び栢間小学校の保護者を対象に、説明会を開催いたしました。

また、10 月 13 日には、地域住民を対象に、菖蒲中学校、菖蒲南中学校それぞれで説明会を開催いたしました。

主な意見といたしましては、保護者からは、「部活動などを通して、統合前に両中学校の交流を深めてほしい」、「クラス編制等について配慮してほしい」、「通学時の安全について不安があるためスクールバスの検討してほしい」などのご意見をいただきました。

一方、地域住民からは、「やむを得ない」という意見がある一方で、統廃合の進め方、考え方に対する質問があったほか、「地域に対する住民の思いを考慮してほしい」、「統合すると通学距離が長すぎる」などの意見がございました。

今後につきましては、11 月下旬から 12 月中旬にかけて、菖蒲地区の小・中学校ごとに、保護者向けに説明会を開催するとともに、学校統廃合に関する賛否の状況を把握するため、アンケート調査を実施していきたいと考えております。

また、アンケート結果を踏まえ、地域住民を対象に、概ね小学校区を単位として、何回か説明会の開催を計画しております。

これらを通して、学校統廃合にご理解いただけましたら、菖蒲南中学校につきましても、平成 31 年 3 月末までに、教育委員会において、統廃合の方針を決定できるよう進めてまいりたいと考えております。

続きまして、資料 2 をご覧いただきたいと思います。

	<p>こちらは、「久喜市立小・中学校学区等審査会における審議等の状況」を時系列に纏めたものでございます。</p> <p>審議会につきましては、平成29年度中に6回開催し、30年度に入ってから2回開催し、その都度、説明会等の報告を行いながら、慎重にご審議いただいております。</p> <p>本日は時間の都合上、詳細の説明は割愛しますが、資料2ページお示ししたとおり、平成30年10月1日の審議会で、江面第二小学校の統廃合については、答申内容の審議に入ったところでございます、「江面第二小学校は江面第一小学校と統廃合することが適当であり、統合の時期を平成33年（2021年）4月とし、統合による新たな学校の校地は江面第一小学校とする。」との方向で答申（案）を作成することとしました。</p> <p>なお、次回審議会は、11月8日の開催を予定しております、江面第二小学校の統廃合に関する答申（案）の内容についてご審議いただくほか、菖蒲南中学校については、10月13日に開催しました説明会の内容について報告のうえ、今後の方向性や進め方について、ご審議いただく予定となっております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>ただ今、担当課から、「小・中学校の適正規模・適正配置」について説明がございました。</p> <p>この内容に関しまして、具体的なお考えを伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>資料1の5ページの真ん中から下に保護者からの主な意見ということで、スクールバスを検討してほしいという意見が書いてありますが、これは具体的には考えていますか。</p>
<p>坂東学務課長</p>	<p>現在、学務課において、通学時の危険箇所を確認をしているところでございまして、具体的なスクールバスの検討は行っていないところでございます。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>菖蒲南中においてもスクールバスに関する意見がありますが、こういった意見は、江面第二小学校からは出ていませんか。</p>
<p>坂東学務課長</p>	<p>適正規模・適正配置に関する基本方針の中で、小学校につきましては、片道3キロ以上であればスクールバスの検討を行うということになっておりますので、江面第二小学校につきましては、スクールバスの検討を視野に入れているところでございます。</p>
<p>狩野委員</p>	<p>江面第二小学校と菖蒲南中学校については統廃合の検討が進んでいるところではあると思います。</p> <p>上内小学校についても適正規模に満たない状況ですが、競争力や人との出会いとか、やっぱり人数が多ければ多いなりのメリットもありま</p>

<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>す。統廃合については、確かにデメリットもあるかもしれないですが、その部分だけを考えるのではなくて、メリットをもうちょっと大きく見ていただきながら、進めていっていただければいいんじゃないかと思います。</p> <p>以上、意見でございます。</p>
<p>坂東学務課長</p>	<p>上内小の保護者説明会に出られた際、どのような雰囲気でしたか。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>昨年度、菖蒲南中と上内小、それぞれ説明会を1回目行っておりますが、菖蒲南中の説明会に比べて、上内小の説明会に来られた参加者は少ない状況でございました。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>上内小の説明会は出席者が25人と13人ですからね。やっぱり上内小学校は団地なので引っ越し人も多く、関心も薄くなりがちであったり、難しいところではありますね。上内小学校に関する検討について、今後の予定はどうなっていますか。</p>
<p>坂東課長</p>	<p>先ほどご説明したように江面第二小、菖蒲南中を中心に進めているところでございますが、上内小につきましても、平成30年度中には一度、現段階における保護者や地域住民の方のご意見を伺いたいと考えております。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>上内小は鷺宮小学区の中にある学校で、スクールバスの必要性などにはあまり心配がないように思いますので、教育環境を考えると早目に方針を検討してもいいのではないのでしょうか。</p>
<p>柿沼教育長</p>	<p>上内小については、あらかじめそういう一つの想定があるということで、資料3が作られているのだと思います。上内小と鷺宮小は、学校間の交流をしており、その真ん中に鷺宮西中学校があります。</p> <p>今、全国各地で義務教育学校の設置が進んでいますが、そういう義務教育学校がここでできるのかどうかということも、今後一つのテーマとして皆さん方でご検討していただきたいと思います。義務教育学校をつくる場合は、中学校の中に小学校が入るということで、校舎の大きさとか全てが小学校と中学校では違いますので、小学校棟を建てるということになれば、財政的な支出は必要でありますけど、長い目で見れば良いことかなというように思っています。</p> <p>そういうことも含めて上内小学校の統廃合についてご説明していただけると、もう少し保護者、地域の方の考え方も変わるんじゃないかなというように思っております。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>地元の諸橋委員、どうでしょうか。</p>

諸橋委員	<p>私は、去年の上内小学校の説明会、第1回説明会に参加させていただきましたが、地域の方の反対が強かったようです。</p> <p>また、団地に住んでいる地域の方が、団地の存続を気にされていましたが、それはどういうふうに検討されるのでしょうか。</p>
議長 (梅田市長)	<p>団地の建て替えには多額の費用がかかり、家賃が高くなるなどの問題がありますので、規模としてはだんだん縮小していくものと伺っております。地域の方については、こうした団地の縮小に不安を持っているようですが、学校の統廃合とは別に考える必要があると思います。</p>
坪井委員	<p>江面第二小学校の統合については、久喜市で初めてのケースであるので、住民を初め保護者の人もいろいろと心配だと思います。これから小林小学校、上内小学校とありますが、それらについても市としての基本的な方針を早目に固めていかないと、住民の方も迷うし、保護者の方たちにもなかなか納得してもらえないと思います。また、教育長が仰っているように義務教育学校みたいな形がとれるのであれば、それも一つの方法だと思います。</p> <p>今は市費の教職員を配置していただいて複式学級になっていませんが、この状態で複式学級にしないのであれば、市費の教員配置がどんどん増えていくこととなります。</p> <p>複式学級は、あまりなじみがありませんけれども、県内には結構複式学級の学校はたくさんあるわけですよ。ですが、複式学級についての情報は、市民の方はあまり知らないと思いますので、統廃合の検討にあたっては、このような情報も知ってもらう必要があると思います。</p>
議長 (梅田市長)	<p>近隣自治体での複式学級の状況はどうなっていますか。</p>
柿沼教育長	<p>白岡市や行田市などでは規模の小さい学校がありますが、久喜市と同様に市費の職員の配置をしているとのことですよ。</p> <p>複式学級をしている学校は、山間部などの地方へ行くとたくさんあるようです。</p>
議長 (梅田市長)	<p>複式学級は、久喜市の教育にとってはあまりいいことではないという認識でいいんですよ。</p>
柿沼教育長	<p>そうです。基本的には複式になるということは、学級としての体をなさないというか、子供に対して十分な教育ができないと考えます。</p>
議長 (梅田市長)	<p>今回計画に載っている4校というのは、将来的には必ず統廃合しなければならないということになるので、正直多少の反対があっても、やらなくてはならないことだというふうに思います。</p>
坪井委員	<p>そうした場合には、早目にどこを統廃合して、その手段をどうするか</p>

<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>というところを住民の方に知らせて進めていくしかないですね。</p> <p>そうですね。小林小は統廃合となると、公共施設が地区になくなってしまいうので、跡地の利用について住民の皆様のご意見を丁寧に向いながら、できるだけ地域のコミュニティが存続できるようにしなければ、なかなか賛成してもらえない状況にはあろうかと思ひます。江面第二小においても、跡地をどのような形で使うか検討する必要があります。</p>
<p>柿沼教育長</p>	<p>統廃合の方向が決まれば、跡地の問題については答えを出していく必要があると思ひます。江面第二小と菖蒲南中については、今年度中に学区審議会でも答申を出したいという意向であるようでございますので、その段階で、跡地活用についてはぜひ全市を挙げてご検討いただければと思ひています。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>そうなるともう教育委員会だけの話ではなくなってしまうので、市長部局も含めて地域の皆様との調整に入らなければならないというふうに認識しております。</p>
<p>諸橋委員</p>	<p>その跡地利用も統廃合と同時に、市長部局のほうと連携していただいただけると、地域の方の不安とかが少しずつ軽減されていくのかなというのがあるので、もしそれが可能であれば、そちらのほうの検討も早急にお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>柿沼教育長</p>	<p>学校は教育財産ですので、現在のところは教育委員会が考えるべきところですが、統廃合が決まると、これを教育財産から一般財産に移行します。ですが、その前の段階で検討していただかないと多分なかなか話が進まないのので、検討をするための組織が必要と思ひていますけど。</p>
<p>石井企画政策課長</p>	<p>企画政策課で公共施設のアセットマネジメントという取組みを進めており、平成 26 年度に公共施設白書を、平成 27 年度には公共施設総合管理計画というものを策定してございます。その後、平成 28 年度に先ほどの公共施設白書を改定しており、その後は施設カルテといった形で、各施設のその年の状況に、毎年度更新をしているところです。</p> <p>今後どういった取組みを進めていくかと申しますと、来年度には個別施設計画という、それぞれの施設について、修繕の計画、長寿命化、統廃合などの計画を立てていく予定でございます。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>統廃合の方針がある程度固まり次第という考え方になりますね。</p>
<p>柿沼教育長</p>	<p>栢間小学校も小規模化が著しいですね。こんなに減るとは、私もちょっと思ひつかなかったんですけども、小林小学校と同様に、栢間小学校も小規模化していますので、やっぱりもう統合は避けられないかなとも考えられます。</p>

榎本委員	元を言えば、昭和の合併で菖蒲町となったので、それまでは栢間村という独立した地区でやっていたからね。
柿沼教育長	位置的に、小林小学校の学区の子が栢間小に通うとか、栢間小学校の子が小林小に通うとか、どちらかの学校で統合するのは、なかなか難しいと思います。その中間にある菖蒲南中学校が、菖蒲中学校と統合した際の跡地に統合の小学校を作っはということをする地元の方もいらっしやいます。これは財政的な負担は多少かかりますけど、そういう折衷案みたいなものを具体化していかないと、なかなか難しいですね。
榎本委員	そういうふうに考えていますよ。方針がしっかり定まれば、あとは内容をどうするかというのを細かく決めていくだけです。保護者の方としては、ここにも意見があるように、すぐにでも統廃合して欲しいと思っているのですから。
議長 (梅田市長)	小林小学校もですか。
榎本委員	そうだと思います。学校が小規模化していることで、小林出身の人が小林に戻らないとの声もありますから。
柿沼教育長	保護者の考えと、それから地域の方の考えがかなり大きな差があるので、この学校の統廃合だけではないんでしょうけども、その辺をどう調整するのかというのが難しい。
榎本委員	各学校に、小・中学校に学校応援団の人たちがいますよね。平均年齢が多分70歳ぐらいだと思うんですけども、その年代がこの地域の住民の中心的人たちなんです。だから、学校応援団の人たちに統廃合の必要性を理解してもらって、その人たちから地域の人たちに説明して貰ってもらうようにすると、反対が緩和されるかなという感じはするんですよ。しかし、説明会にいくと、学校応援団の中でも反対をされている方を見受けられますので、説明会のほかにも、例えば校長先生から、応援団の人たちにまずは統廃合の説明をして、そこからスムーズに地域に流してもらえばいいかなという感じはしましたけどね。
議長 (梅田市長)	担当課のほうから統廃合の進め方に関する要望はありますか。
坂東学務課長	先ほどご意見として出たように、跡地利用についてのご意見が非常に多くて、具体的に統廃合が決まったとして、同時進行で跡地利用に関しても検討していかないと、空き施設となり防犯上の問題なども生じます。そういったご心配の声は多くいただいておりますので、これから市長部局と連携しながら速やかに進めていきたいなと思っています。

議長 (梅田市長)	わかりました。
柿沼教育長	跡地利用の検討委員会みたいのがあったほうがいいですね。
議長 (梅田市長)	もう統廃合するという方針が大体定まっているわけですからね。
坪井委員	栗橋北小学校の時にも問題になりました。廃校になってしばらくになるんですけど、利用もできないし、そのままの状態になっていますので、跡地の利用も一緒に進めないと難しいかもしれません。
議長 (梅田市長)	そうですね。北小は特に何もせずに今まできていますからね。
榎本委員	跡地も解体をして更地になった状態から計画を立てられるのならいいけれど、建物を利用してみたいな話になると、選択肢というのはそんなにはなくなってしまいます。 江面第二小、菖蒲小など、今後さらに増えていくから大変ですね。
議長 (梅田市長)	建物を壊さない限り公共施設は減らないので、それに対する修繕費というのは定期的に発生するんですよ。だから、やっぱり一定数、不用になった公共施設は解体を進めていかないと、将来大変なお荷物になってしまうかもしれないので、将来への投資を考えていかなきゃいけないですね。
坪井委員	参考に聞いておきたいのですが、学校施設を作る際には国の補助があると思いますが、そのような施設を解体するには条件がついていて壊せないとかというのはあるんですか。
柿沼教育長	補助金の返還の期間になっているかどうかということであれば、もうずいぶん経っていますからね。
坪井委員	それが終わってれば、壊してほかの施設に利用するというのも可能ということですね。
柿沼教育長	むしろ解体費用のほうが莫大にかかりますから。
議長 (梅田市長)	跡地利用が決まっていって一部民間に売るとか、そういうのが決まっていれば思い切ってやるんでしょうね。解体費用を全額市が持って、その後何も決まっていまないとすると、なかなか厳しいですよ。
柿沼教育長	随分前に春日部で武里団地の4つの小学校を2校にしたときは、2校

<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>分は解体して売りましたよね。市街地ですから。本市の場合はなかなか難しいところですよ。</p> <p>さっき私が出した義務教育学校について、市長のお考えをお聞きしたいと思います。</p> <p>これは私見でございますが、もともと上内小というのは、鷺宮小の学区の中に巨大な団地ができて、その団地の子供たちを通わせるためにつくった学校なので、小学校自体を一つにまとめるということに関しては、通学上は全く問題ないと思います。</p> <p>鷺宮も鷺宮中学区と東中学区というのは宅地の分譲が非常に盛んで、これからも児童生徒が増える見通しがあるんですけど、西のほうは人口が唯一減少しているエリアです。</p> <p>ですが、すぐ近くに鷺宮高校や平成国際大学があったり、学校自体多いので、公教育をしっかり守っていくということを考えても、子供たちをこの地域で育むという体制をつくっていくためには、小・中学校を一つにして義務教育学校にして、独自の地域密着型の教育環境というのはいいことであると思います。</p> <p>それでは、ほかにないようであれば、次に進めていきたいと思いません。</p>
----------------------	--

4 協議・調整事項 (2) その他

<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>続きまして、協議・調整事項(2)、その他でございます。</p> <p>次回以降もテーマに基づいて意見交換を行いたいと考えておりますが、皆様からの提案などございますでしょうか。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>時期はいつごろになりますか。</p>
<p>石井企画政策課長</p>	<p>2019年の6月ごろを予定しております。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>随分先ではありますが、何かテーマはありますか。</p>
<p>坪井委員</p>	<p>生徒数にもかかわるんですけども、栗橋は特に通学区が昔からいろいろ変わってしまっていて、通学区を変更することによって、特定の学校の生徒さんが減らなくて済むなどの考えもあり、通学区の変更を希望している人も結構いらっしゃるんですね。そういう通学区の問題を全体的に取り上げてもらえたらいいかと思いません。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>通学区の見直しということですか、弾力化ではなくて。</p>
<p>坪井委員</p>	<p>弾力化でいければ、それも可能だと思いますけども、見直しについて</p>

<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>の意見があるところが偏っているので、どうかなと思っています。</p> <p>通学区の現状と課題について、テーマとして設けさせていただきたいと思います。</p> <p>ほかの委員さんから何かありますか。幾つかテーマあったほうが良いと思うんですね。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>先日、菖蒲南中の説明会に出席しましたが、保護者は統廃合に賛成で、その時期についてもよく理解していました。しかし、統廃合の日から、いきなりそこに転校というか合併するのではなく、事前に部活だけでも、土日を利用して交流が持てないかという意見が出ていました。</p> <p>江面第二小は、江面第一小と、授業などをそういう交流をやっているということです。菖蒲中と菖蒲南中の授業における交流はまだこれからあるかもしれませんが、保護者の方からは、まずは部活でもいいんじゃないですかという意見が多く出ていました。</p> <p>ただ、スポーツは難しいところで、今菖蒲南中学校の野球部員が2人か3人しかいなくて試合ができない状況です。菖蒲中は9人以上でチームができていますので、2校合同でのチームはできないルールなんです。</p>
<p>柿沼教育長</p>	<p>そうですね。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>幸手の中学校で野球部員が9人以下のところがありまして、試合当日初めて会って一緒に試合をするというのもあるみたいです。</p> <p>また、菖蒲南中はサッカー部がないので、サッカーをやりたい子はクラブチームに行くしかなく、中学校で部活をやったという履歴が残らない。選択肢が少なく、子どもたちがかわいそうなので、統廃合が決まっている状況を加味して、菖蒲中と一緒に試合ができればいいかなと思います。</p>
<p>柿沼教育長</p>	<p>その件については、中学校体育連盟に問い合わせようと思っています。現状は先ほどお話があったように、野球なら9人を超えているチームとは連合は組めず、9人未満の学校同士でないといけないということです。市内で今菖蒲南中以外は9人を超えていて、市内で組めないのので、同じ予選区である幸手の学校と組んでいるということです。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>幸手の学校も菖蒲南中と同じように困っているんでしょう。</p>
<p>柿沼教育長</p>	<p>部活動のあり方については、部活動の時間とか日数だとか、あるいは部活動指導員の配置など、課題があるので取り上げていただいて、いろいろ今後の部活動のあり方にご意見をいただければいいかなと思います。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>ほかに、ありませんか。</p> <p>事務局のほうからは何かありますか。</p>

木村課長補佐	事務局からは、スポーツの振興についてを提案させていただきたいと思いをします。
議長 (梅田市長)	これはオリパラを見据えてですか。
木村課長補佐	はい。今までこの教育会議の中で扱ってきていなかったテーマでもありますし、オリンピック・パラリンピックを控えているといったところから、本市の現状などを踏まえて意見交換できてもいいのかなと思っております。
議長 (梅田市長)	それでは、そのような内容で次回臨みたいと思いますので、事務局の方でテーマを整理してください。
司会 (石井企画政策課長)	次回のテーマでございますが、ご提案いただきましたテーマは「通学区の現状と課題について」と「学校統廃合に向けた部活動の交流」でございます。また、事務局から提案いたしました「スポーツの振興」の以上3点を次回の会議におけるテーマとさせていただきたいと思いをします。
議長 (梅田市長)	それでは、今回はそのようなテーマで進めさせていただきます。 それで、この場では、そのほかとして皆様がずっと抱いておられますさまざまなご意見やご質問などあればこの場で伺いたいと思いをしますが、何かありますか。
坪井委員	先日研究発表会でお邪魔した学校で、給食の配膳室か何かに雨漏りがあるというお話をいただきましたことと、階段の修繕が必要かなということがありましたので、財政的に大変かと思いをしますが対応をしていただければ思いをします。
議長 (梅田市長)	どちらの学校が雨漏りしているのですか。
坪井委員	鷲宮東中学校の配膳室と言っていましたので、ぜひよろしくお願いをします。 あと、昇降口が2階で階段を上がっていく学校がありますが、階段で崩れ始めていた箇所がありますので、対応をお願いしたいと思いをします。
議長 (梅田市長)	わかりました。
諸橋委員	私も雨漏りに関連してのことですが、ゆうゆうの関係で訪問した際に、急な夕立で昇降口が水浸しになっている学校があったんですね。それも毎度のことのようで、先生も慣れていらっしゃるんですが、先生方も忙しいですから、働き方改革という中において、このような部分の環

榎本委員	<p>境改善というところに予算をかけていただけると、解決の一つになるのかなというのがあります。</p> <p>あと、雨漏りがぼたぼた垂れるんじゃないじゃなくて壁から伝わってくる、流れ落ちてくるという学校もあるそうなので、ぜひそういった学校設備の改善のほうを手厚くしていただければと思います。</p> <p>他には、トイレの洋式化ですね、私も今年の3月に小学校の卒業式に参列した際に、体育館から出ると校舎のほうから、トイレのにおいがしてきたんですね。においが気になって授業に集中できないんじゃないかと心配になったものですから、そういったところにも配慮していただければと思います。</p> <p>菖蒲南中の通学路についてですが、統廃合後の菖蒲中までの間の通学路をきちんと整備すべきだと思います。通学路ははっきり決まっていないと思いますが、街灯の整備や防犯対策には時間も予算もかかりますので、早目にどこが対象になるとか、どう整備するとかを決めていただければいいかなと思っています。</p>
議長 (梅田市長)	<p>その件につきましては、後で現場と相談させていただきたいと思えます。</p>
狩野委員	<p>球技に関することですが、公園でボール使えないじゃないですか。でも人の家の壁にボールぶつけるわけにもいかないし、前は学校にボールをあてる壁があったように思いますが、今はどこの学校にもない。地震の関係でなくなったのか、別の理由でなくなっちゃったのかというのが、疑問に思っています。</p>
川島教育部副部長	<p>以前には、ストライクゾーンやサッカーゴールの絵が描かれた投てき板が学校にあったんですけど、コンクリートや板でできていて、そこにボールをぶつけるので、音についての苦情が多くて撤去したということを、何件か聞いております。</p>
議長 (梅田市長)	<p>ほかに。どうですか。</p>
諸橋委員	<p>18歳まで子ども医療費無料化のお話があったと思いますが、保護者にとっては、あの制度がすごく魅力的だったということをお伝えさせていただきます。</p> <p>中学生のうちに駆け込みで治療する家庭も多いようですが、高校生になっても病気やけがで通院する子も多いですから。</p>
議長 (梅田市長)	<p>高校まで入通院無料化すると、年間約7,200万の支出が見込まれます。限られた財源をどこに使うかということですが、私は、選挙公約の一つとしております給食費の軽減のほうを考えております。隣接する幸手市が第2子の給食費が半額で第3子が無料ということもあり、近隣と</p>

<p>諸橋委員</p>	<p>行政サービスをまず近づけるところからやりたいと思っています。 財源が無限にあれば、どんどん行政サービス拡大していくことも可能と思いますが、現状では、限られた財源を医療費にも使いたい、給食費にも使いたい、インフラの改修にも使いたいということになってくると、足りなくなってしまうので、その優先順位のつけ方が重要と考えております。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>わかりました。</p>
<p>木村課長補佐</p>	<p>それでは、大体終わりましたが、事務局から何かありますか。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>事務局から今後のスケジュールについて報告します。今年度につきましては、児童生徒に関する緊急な要件がなければ、本日の会議が最後となります。来年度の予定でございますが、来年度も本年度同様2回の開催を予定しておりまして、第1回目を6月頃、第2回目を11月頃と予定しているところでございます。また、時期が近くなりましたらご案内申し上げますので、その際にはよろしくお願い申し上げます。 以上でございます。</p>
<p>議長 (梅田市長)</p>	<p>それでは、以上で本日予定した協議・調整が終了いたしました。 ご協力ありがとうございました。 これをもちまして、議長の任を解かせていただきます。</p>

5 閉会

<p>司会 (石井企画政策課長)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員の皆様におかれましても、長時間にわたりご協力いただきましてありがとうございました。</p> <p>次回は、先ほど事務局から申しあげましたとおり、新年度6月ということで予定させていただきまして、テーマにつきましては「通学区の現状と課題について」、「学校統廃合に向けた部活動の交流」、「スポーツの振興」の3点ということで、協議・調整を実施させていただきます。また、時期が参りましたら日程の調整をさせていただきますので、改めてご連絡をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、以上をもちまして平成30年度第2回久喜市総合教育会議を終了とさせていただきます。</p> <p>大変お疲れさまでした。どうもありがとうございました。</p>
--------------------------	---

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成 30 年 12 月 3 日

久喜市長 梅田 修一

久喜市教育委員 諸橋 美津子